





## ・本時の指導

1 主題名 奉仕する喜び 4 - ( 4 ) 勤労・奉仕

2 資料名 「ボランティアクラブに入って」 ( 出典 : 「 5 年の道徳 」 文溪堂 )

3 ねらい

ボランティア活動の意義を理解し、社会のために奉仕しようとする心情を育てる。

## 4 主題設定の理由

### ( 1 ) ねらいとする価値について

指導内容・高学年の 4 - ( 4 ) は、「働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする」である。これは、勤労が自分のためだけではなく社会生活を支えるものであることを理解し、積極的に役に立つ活動に取り組めるようにする態度を育てようとする内容項目である。

人間は、社会の中で人とかかわって存在し、自己実現を目指して日々努力している。この営みの中で生きがいを見だし、社会を支え合う充実感を得ることは、人間の喜びでもある。

この時期の児童は、人のために役に立ちたい、家庭でのお手伝いをしたいという勤労、奉仕の意欲をもっている。しかし、実際に自分から進んでちょっとしたボランティアをしてみようとするところまで行動力がついていない。また、どんなことがボランティアなのかというイメージがつかめていない。そこで、この時期に、社会の一員として手伝いや仕事、奉仕の体験を通じて社会と自分とのかかわり方を考えることは、生きていくうえで大切なことである。多くの人々と自らの意思でかかわりをもち、応援したり、手助けしたりして働くことが大事であることを理解させることが必要と考え、本主題を設定した。

### ( 2 ) 児童の実態について

子どもたちは地区内清掃や、リサイクル活動など、地域での様々な活動に参加している。また、テレビや新聞などでボランティア活動についての報道が増えているなかで、社会のために働くということについて興味・関心のある子どももいる。しかし、それは行事として決められているからとか、例年やっているからとかという理由であり、自分から進んで人のために働くという気持ちで動いている活動ではない。現代は核家族化や物質的な豊かさがあり、家庭内での児童の勤労体験の機会は減少し子どもたちは消極的である。

意識調査からも地域や社会のために活動したと知っている子がほとんどである。しかし、これは主体的な活動とは言い難い。

道徳「くずれ落ちただんボール箱」で、人の身になって親切にすることの大切さを学んだ。その後「総合的な学習の時間」の中での「ボランティア体験」ではフイルンというデイサービスセンターで一日老人とのふれあい活動をした。その中で、自分から進んで知らない人に声をかけられなかったり、自分だけが楽しんでいたりする子もいた。ボランティアということを通して理解しているものの相手とどう接することが相手のためになり、また、自分のためになることなのかかわからず行動に移すことができない。

そこで、事前にボランティア活動をまとめさせておくことにする。ボランティア活動の大切さに気づかせるために、私たちの日常活動を振り返らせると共に自分が社会の一員として生きていると感じさせたい。そして、いろいろな活動を通してボランティア活動が何であるかに気づかせ、自分から進んで社会のためになるような活動ができる心を育てて、身近なところから実践できる態度へとつなげていきたい。

### ( 3 ) 資料について

主人公優香は友だちに誘われてボランティアクラブに入る。老人ホームに行くことになり、担当が決まる。優香が担当することになったのは耳が不自由なおばあさんであり、とまどいを感じながらの活動になった。これでよかったのかと不安を感じながらも一生懸命お世話をするうちに、おばあさんへの気持ちがぎこちないながらも伝わる。おばあさんとの無言のやり取りに、充実感を感じ、優香の心の中に次の訪問への意欲がわくという内容である。

本資料では、ボランティアクラブを楽しんでいた優香が、自分の未知の世界でもあるお年寄りのお世話をすることになり、不安に思う気持ちに充分共感させたい。お年寄りとのコミュニケーションがうまくとれず、胸の痛みを覚える優香の行為は子供たちにとっても十分共感できる内容であり、考えさせられる出来事である。耳の不自由な老人との交流を通して、人と接することは相手の意思を汲み取りながらしなければならない活動であることを押さえ、これからの人との接し方を深く考え、社会奉仕を実践しようとする意欲を高めるのに適した資料である。

## 5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫(仮説・・・手立て2との関わり)

ねらいにせまるために、次のような手立てを考えた。

< ゲストティーチャの活用 >

・ボランティア活動をしている方をお呼びして、相手の役に立つ喜びを実感しながら活動に励んでいることについて話していただくと共に、子ども達のこれからの活動について励ましたり、助言をしていただき、更に実践への意欲付けを行いたい。

< 書く活動を取り入れた展開 >

・展開後段で、「地域や周りの人のために行動して一番嬉しかったこと」を書かせることで今までの自分を振り返らせこれからの実践意欲を高めたい。

6 資料分析図

場 面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図・発問
<p>保育士になることを夢見る優香は仲良しのあずさに誘われて、休日に活動しているボランティアクラブへの参加を決めた。</p>	<p>(優香)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あずかがいるから安心。</li> <li>・保育園で小さい子ども達の世話がしたいな。</li> <li>・楽しそうだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒にだから入るのだろうな。</li> <li>・夢に向かっての練習ができるので喜んでいるんだろうな。</li> <li>・休日にボランティア活動をするなんてえらいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士になりたい優香がボランティアクラブに入ったときの気持ちを押さえる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○優香はボランティアクラブにどんな気持ちで入ったでしょう。</p>
<p>お年寄りとの交流が初めてで、気が重い優香。担当の車椅子に乗ったおばあさんに何度声をかけても返事が無く、優香は立ちすくんでしまった。しばらく考えた後に部屋に入っていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この場から逃げ出した。</li> <li>・もう一度声を掛けてみたいけど、また返事が無かったら嫌だな。</li> <li>・勇気を出して入ってみよう。</li> <li>・喜んでもらうために来たのだからがんばろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩んでいるのだろうな。</li> <li>・おばあさんが返事をしないので嫌なのだろうな。</li> <li>・耳が不自由でもせっかくなのでクラブで来たのだから活動しないといけないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんの部屋の前で葛藤する優香の気持ちに共感させる</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">優香はおばあさんの部屋の前で何を考えていたのでしょうか。</p>
<p>活動を始めた優香。黙ったままで掃除が終わり、片付けをしているとふと目が合う。とっさに手話をつけた歌をプレゼントすることを思いつき歌った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやったら、おばあさんと会話ができるかな。</li> <li>・耳の不自由な人だから手話をつければ歌がわかるかな。</li> <li>・喜んでもらえたらいいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんとかして会話をしたかったのだろうな。</li> <li>・手話ならわかってくれると思ったのだろうな。</li> <li>・そんなにまでしてもおばあさんと話したかったのだろうな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優香の行動は相手に喜んでもらおうとしたものであることに気付かせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○優香がおばあさんの前で手話をつけて歌を歌ったのはどうしてでしょう</p>
<p>別れ際に涙を浮かべて握手をしてくれたおばあさんの姿に優香は喜びを感じる。次の訪問が楽しみになるのだった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んでもらえて嬉しい。</li> <li>・もっと手話を練習してお話したい。</li> <li>・ありがとう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優香の気持ちがわかってくれてうれしいのだろうな。</li> <li>・やっと心が通じ合えたな。</li> <li>・最後まであきらめないでよかったと思っっているのだろうな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんの涙を見て、優香が奉仕することの喜びを知り、その上充実感を味わっていることを押さえさせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○涙を流すおばあさんの手に触れながら、優香はどう思っただろう。</p>

7 展 開

段階	学 習 の 流 れ	予想される児童の反応	支援の手だてと評価の観点
導 入 5分	1 デイサービスセンターを訪問したときのことを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ときどきしたけれど積極的に話すことができた。</li> <li>・ どう接していいか分からなかった。</li> <li>・ 交流があまりできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイサービスセンター訪問の際の写真を提示し、なかなか行動に移せないときの気持ちを思い出させ、ねらいとする価値への意識をもたせる。</li> </ul>
展 開 前 段	2 資料「ボランティアクラブに入って」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優香が友だちに誘われてボランティアクラブに入ったときの気持ちを押さえさせる。</li> <li>・ おばあさんの部屋の前で葛藤する優香の気持ちに共感させる。</li> <li>・ 優香の行動は相手に喜んでもらおうとしたものであることに気付かせる。</li> <li>・ おばあさんの涙を見て、優香が奉仕することの喜びを知り、その上充実感を味わっていることを押さえさせる。</li> <li>・ (評) おばあさんに喜んでもらえて満足している優香の気持ちを考えることができたか。</li> </ul>
	優香はボランティアクラブにどんな気持ちで入ったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あすかがいるから安心。</li> <li>・ 保育園で小さい子ども達の世話がしたいな。</li> <li>・ 楽しそうだな。</li> </ul>	
	↓		
	優香はおばあさんの部屋の前で何を考えていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この場から逃げ出したい。</li> <li>・ もう一度声を掛けてみたいけど、また返事が無かったら嫌だな。</li> <li>・ 勇気を出して入ってみよう。</li> <li>・ 喜んでもらうために来たのだからがんばろう。</li> </ul>	
	↓		
25分	優香がおばあさんの前で手話をつけて歌を歌ったのはどうしてでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうやったら、おばあさんと会話ができるかな。</li> <li>・ 耳の不自由な人だから手話をつければ歌がわかるかな。</li> <li>・ 喜んでもらえたらいいな。</li> </ul>	
↓			
25分	涙を流すおばあさんの手を包み込みながら、優香はどう思ったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜んでもらえて嬉しい。</li> <li>・ もっと手話を練習してお話したい。</li> <li>・ ありがとう。</li> </ul>	
↓			
展 開 後 段 10分	3 本時の価値に照らして、これからの自分の生活について考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの自分の考えや行動を振り返らせながら、今後の実践へと結びつかせたい。</li> <li>・ (評) 本時の価値を理解し、自分を見つめることができたか。</li> </ul>
	今まで、社会や周りの人のために行動したことがありますか。		
終 末 5分	4 ゲストティーチャ の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動をしている方のお話から、さまざまな活動が行われていること、相手の役に立つ喜びを実感しながら活動に励んでいることを伝え、活動の意欲につなげさせる。</li> </ul>

8 評価

社会に奉仕する喜びを知り、進んで行動しようとする意欲をもつことができたか。

9 板書計画

奉仕

ボランティアクラブに入って

写真

- ・積極的に話せた
- ・自分だけが楽しんでしまった
- ・あまり交流できなかった

ボランティアクラブ

- ・小さい子の世話ができる
- ・うれしいなあ、夢に近づけた

しばらく考えていました

- ・この場から逃げたい
- ・また返事がなかったらいやだ
- ・勇気を出して入ろう
- ・喜んでもらいに来たのだから入ろう

挿絵

手話をつけた歌をプレゼント

- ・どつやったらおばあさんと会話ができるのか
- ・手話をつければわかるかな
- ・喜んでもらえたらいいな

涙を流すおばあさんの姿

挿絵

- ・喜んでもらってうれしい
- ・もっと手話を練習しよう

奉仕する喜びは自分の喜びでもある

10 道徳ノート

道徳ノート

五年

ボランティアクラブに入って

今まで社会や周りの人のために行動したことがありますか。その時の気持ちはどうでしたか。

感想

今日の学習を振り返って	ボランティアについて考えることができたか。	お友達の話を聞くことができたか。	挙手・発言ができたか。



